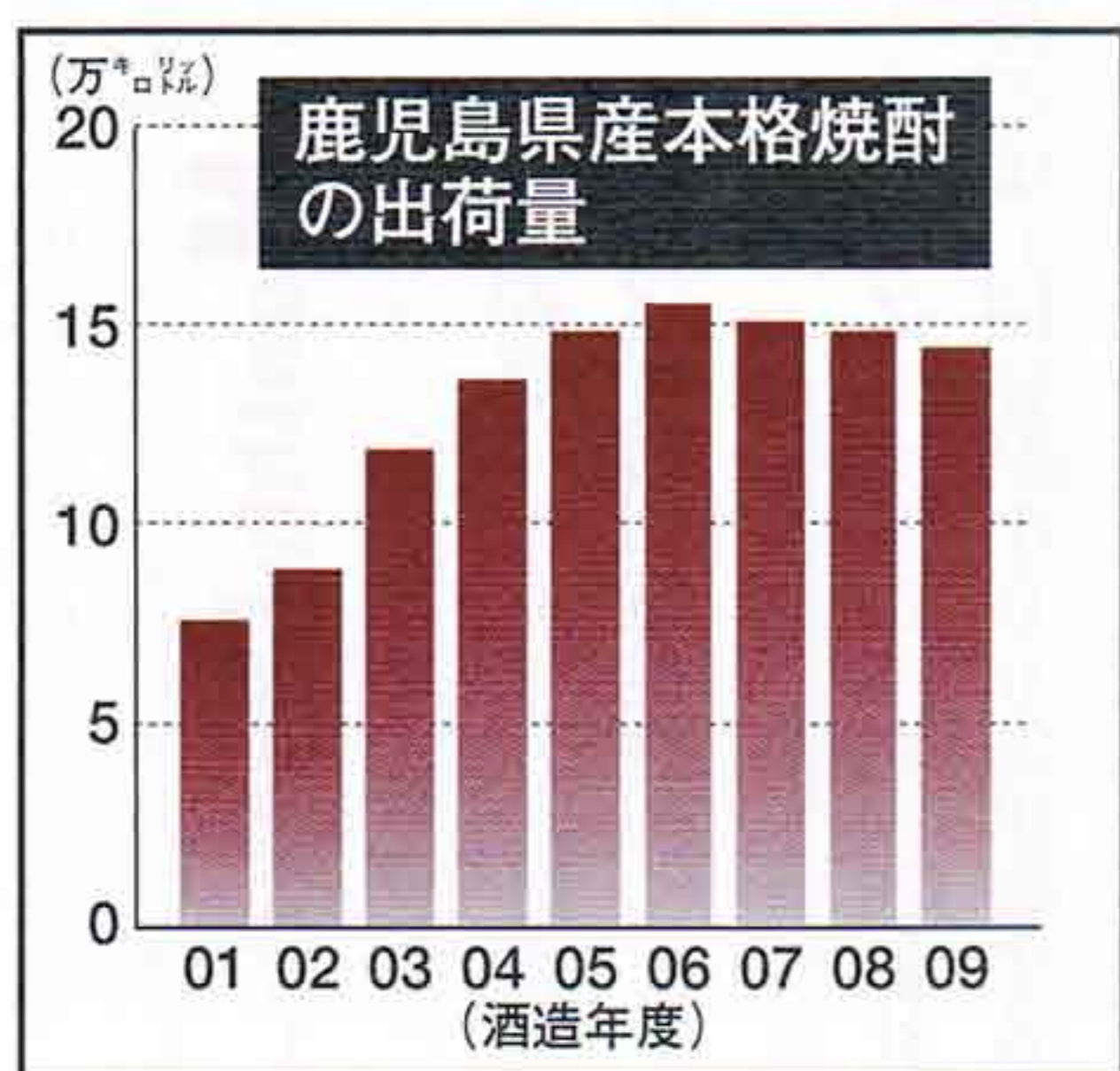


Monthly Digest

鹿児島県産焼酎 出荷量は3年連続減

鹿児島県酒造組合（113社）が発表した2009酒造年度（09年7月～10年6月）の本格焼酎の出荷量は前年度比3・2%減の14万4800キログラムで、3年連続で減少した。

原料別の出荷量は芋が同3・8%減の11万800キログラム、黒糖が同5・3%減の8200キログラム、麦は同1・8%増の2万3600キログラム。一方、生産量は同5・5%減の19万6400キログラムだった。5年連続の減少で、6年ぶりに20万キログラムを割り込んだ。



Monthly Digest

ソラリアプラザ 改装オープン

西日本鉄道（福岡市）は、運営する福岡市・天神の商業施設「ソラリアプラザ」を改装オープンした。1989年の開業以来の大幅リニューアルで、テナント約130店のうち23店を閉じる一方で、19店が新規出店。既存の41店は内装など一新した。九州初出店は「アルシーヴ」「イエッカ ヴェツカ」など10ブランド。改装に合わせ、営業時間を30分ずらし、午前10時半から午後8時半までにした。投資額は1億9800万円。

Monthly Digest

ミニストップ

中村学園短大と弁当開発

コンビニエンスストア「ミニストップ」を北部九州で展開するエムエス九州（福岡市、荒川勤社長）は、中村学園大学短期大学部（同）

ベンチャー支援事業10周年記念パーティー開催

廣田商事



不動産の賃貸・管理業を手掛ける廣田商事（福岡市、廣田稔社長）は、同社が2000年に開始したベンチャー企業向けのインキュベーション事業「ibb fukuoka project」の10周年を記念するパーティー「ibb fukuoka project 10th anniversary ib be united party 2010～commitment～」を9月8日、同市で開催した。会場には関係者約170人が集い、同社のこれまでの歩みを祝った。

「世界ブランドとなる企業を福岡から輩出したい」との理念でスタートしたインキュベーション事業は、インキュベーション施設「ibb fukuokaビル」やSOHO型マンション「ibb will 姪浜」などの運営を手掛け、不動産の有効活用を通じたベンチャー企業の支援をしてきた。

入居企業は累積で約100社に達し、その中から3社がIPO（株式公開）を果たした実績をもつ。09年には同社のインキュベーション事業部を分社化したアイ・ビー・ビーを設立。インキュベーション施設の運営を中心に営業支援や資金調達などのコンサルティングによるベンチャー企業の支援に特化する。

アイ・ビー・ビーの篠原保彦社長は「福岡から世界に羽ばたく企業を輩出することで、福岡を活性化したいという思いは10年前と変わっていない。プロジェクトがここまでこられたのも皆さまのご協力のたまもの」と感謝の言葉を述べた。廣田社長は「2030年までにIPO企業を20社輩出したい」と20年後の同事業のビジョンを説明し、目標達成に向けた取り組みを実践することを参加者に「commitment（約束）」した。



の学生と共同で弁当のメニューを開発すると発表した。2011年初めにも発売する。

同学部食物栄養学科の学生11人が参加。地元食材を使用した健康志向のメニュー開発や栄養

価のチェック、試食などに取り組む。大手コンビニが九州地区での出店を強化しており、独自の商品の開発強化で対抗する。同社

が学生とメニューを共同開発するのは初めて。